

平成26年度 第1回金沢市入札制度評価委員会の審議概要

開催日及び場所	平成26年6月3日(火) 金沢市役所 第3委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長	坂井 美紀夫(弁護士)	
	委員	後藤 正美(金沢工業大学教授)	
	委員	米田 満(公認会計士)	
	委員	松本 樹典(金沢大学教授)	
	委員	舟橋 秀明(金沢大学准教授)	
次第	1 開会 2 報告案件 (1) 平成26年度入札契約制度の改正概要について 3 審議案件 (1) 工事等に係る入札・契約手続きの運用状況等 ア 平成25年度の本市発注工事及び工事関連委託業務の結果について イ 入札参加資格停止の運用状況及び談合情報への対応状況について (2) 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯 (平成26年1月1日から平成26年3月31日) 3 閉会		
抽出案件	5件		
工事	制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度 香林坊1丁目ほか1町地内(107-1工区)歩道復旧工事</li> <li>金沢駅西広場道路標示施設等設置工事</li> </ul>
	随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸室リサイクルプラザ機械装置定期修繕工事</li> </ul>
委託	制約付き一般競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市基盤河川木曳川改修に伴う取水堰実施設計業務委託</li> </ul>
	指名競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>味噌蔵町小学校校舎耐震補強工事(1期)実施設計業務委託</li> </ul>
審議内容	別紙のとおり		
委員会による報告 又は意見の具申	平成25年度の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、適正に行われていると判断する。		

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号  
 金沢市総務局監理課 工事契約グループ  
 電話:076-220-2101

別紙  
総括

委員からの意見は、概ね次のとおりであった。  
平成25年度の工事及び委託業務の業者選考等が適正に行われていたことを確認した。

昨年度は年度当初に加え、年度途中においても迅速に制度改正を実施してきたが、技術者不足や資材の高騰などによる入札不調が全国的に続いていることから、今後とも国や県の動向を注視し、適宜適切な対応を行ってほしい。

最低制限価格と同額の入札が増加しているが、最低制限価格の算出方法や設計の積算方法が公表されている中で、一定の積算能力を有する事業者の受注機会の拡大を図るため、最低制限価格を千円単位としたものであり、受注意欲のある事業者が適正な競争を行った結果であることから、今後とも適切な競争の確保と適正な価格設定に努めてほしい。

意見の詳細は、次のとおり。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p><b>1 工事・委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等</b></p> <p>○ 平成25年度中の入札不調の件数、労務単価の上昇に伴う対応についてはどうであったか。</p> <p>○ 最低制限価格と同額の状況についてはどうであったか。</p> <p>○ 落札率の分布状況が高い方向に移動しているが入札不調との関連はあるか。</p> <p><b>2 その他</b></p> <p>○ 金沢市の小・中学校の耐震補強について、進んでいるということであるが今年度のスケジュールはどうなっているか。</p> <p>○ 今後の市として技術者の確保という点での対応はあるか。</p>	<p>・ 平成25年度の入札件数は831件であり、そのうち入札不調件数は31件である。平成26年度は5月末現在で1件である。昨年度の傾向としては年度の後半に施工条件が悪い場所で入札不調が発生している。このため、発注時期は重要であると考えており、今年も昨年度に引き続き早期発注に努めたいと考えている。</p> <p>・ 労務単価の引き上げについては、今年の2月に引き上げを行ったが、国では10月にも再引き上げするための準備作業に入るという報道もあり、速やかに対応出来るよう情報収集していきたい。</p> <p>・ 平成25年度の最低制限価格と同額は222件で全体の4分の1程度であり、その中でくじ引きは127件であった。最低制限価格の算出方法が1円単位であったときも最低制限価格と僅差の入札が多かったため、一定の積算能力を有する者の適正な競争の結果、最低制限価格が千円単位になったことで同額が増えたと推測される。</p> <p>・ 特に土木工事に関しては業者数が多く、競争が激しい状況にある。また、最低制限価格の積算方法も公表されており、単価も国、県のものを採用し、それも公表されている。このため、土木工事は積算がし易い工事が多く、最低制限価格と同額になりやすい傾向が出ていると考えている。</p> <p>・ 落札率については昨年度は最低制限価格を引き上げたことで分布が変わったものと考えている。入札不調との関連については資材の高騰などによる入札不調もあることから、一部で影響があると考えている。</p> <p>・ 小・中学校の耐震補強工事については夏休み中に行うが、今年度施工予定工事については昨年度中に契約済みであり、現在は夏休みに入ったらすぐに施工できるよう準備中である。</p> <p>・ 市単独での対応は難しいと考えている。</p> <p>・ 労働条件の改善として、社会保険の加入対策は現在も経営事項審査の項目になっているが、未加入でも建設業の登録は可能である。ただ、国は今年度途中から一次下請業者を含め現場の技術者に社会保険加入を義務付けることも考えているようである。労働人口が減少していく中で国としても建設業界に人を呼び込めるよう対応をしているところであるため、まずは、国レベルでの対応ということで進んで行くのではないかと考えている。</p>
<p><b>3 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について</b></p> <p>平成25年度 香林坊1丁目ほか1町地内（107-1工区）歩道復旧工事</p> <p>○ 2者参加で1者が最低制限価格での失格となり、落札率が100%ということであるが、このような状況をどう考えているか。</p>	<p>・ 本工事は香林坊1丁目地内での昼夜間施工による工事であるが、施工場所が工事車両が停まりにくい場所であることや夜間施工ということで施工しにくい条件であったことから敬遠されたことにより参加者数が少なかったものと考えている。また結果として、受注意欲のある者が最低制限価格を下回り失格となったため、予定価格と同額での応札者が落札者となったものである。</p>

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p><b>金沢駅西広場道路標示施設等設置工事</b></p> <p>○ 本工事は最低制限価格でのくじ引きによる入札であり、最低制限価格を下回ったものも千円程度の差で失格となった案件で資料説明のみで了解したため質問なし。</p>	
<p><b>戸室リサイクルプラザ機械装置定期修繕工事</b></p> <p>○ 随意契約であるが理由は何か。</p> <p>○ 当初設備導入時に入札の条件として維持管理費などは考慮されているか。</p>	<p>・ 本工事は戸室リサイクルプラザの既存設備の修繕工事であり、既存設備の場合は部品の互換性などの問題や技術的に施工可能業者がないことが随意契約の理由である。</p> <p>・ 当初の機器選定時においてインシャルコストとランニングコスト、発注形態なども含めて検討している。また、入札時は検討内容を含めた条件での仕様書発注としているため維持管理費の面も考慮されていると考えている。</p>
<p><b>都市基盤河川木曳川改修に伴う取水堰実施設計業務委託</b></p> <p>○ 落札率が高いが労務単価上昇の影響はあるか。</p>	<p>・ 本業務は水門関係の設計であり特殊であることやその他の業務が多く発注されていたことから手持ちが多かったこと、また、発注時期の関係もあり落札率が高くなったものと推測される。</p>
<p><b>味噌蔵町小学校校舎耐震補強工事（1期）実施設計業務委託</b></p> <p>○ 指名数が8者ということであるがなぜか。</p> <p>○ 8者のうち1者のみが安価での入札であるが、業務成績はどうだったか。</p>	<p>・ 指名数は要領で決まっている。</p> <p>・ 安価な入札であったが業務成績は普通であり、品質などに問題は無かった。</p>